

2019年度「研究者の横顔」レポート

氏名：平山 貴敏

1. 研究者になるうとしたきっかけ

私は、がん専門病院でがん患者さんとご家族のこころのケアを行っています。「患者さんのために診療以外でも何かできることはないか」と考え、がん患者さんのこころのケアに関する研究を通して支援できればと思い立ったのがきっかけです。

2. 助成研究の内容紹介

AYA世代のがん患者さんは、同世代の患者さん同士で集まって悩みを相談し、情報交換する場がほとんどないのが現状です。そこで、私たちは国立がん研究センター中央病院の患者サポートセンターでAYA世代のがん患者さん同士の交流の場「AYAひろば」を運営しています。この研究では、「AYAひろば」の参加者にアンケート調査を行います。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

アンケート結果をもとに課題を抽出し、AYA世代のがん患者さんのピアサポートの全国への普及モデルを開発することが目標です。

4. 全国のRFL関係者に一言メッセージ

少しでも皆さまのお役に立てるよう努力したいと思います。よろしく申し上げます。